

## 令和7年度 学生ボランティア団体 掲載団体一覧 (大学50音順)

<u>団体名</u>	<u>大学等名</u>
学生サークル・Ladybird	沖縄キリスト教学院大学
NPO 法人日本サステナブルイノベーターズ	関西大学
児童文化研究サークル「あかとんぼ」	関西大学
学生教育支援団体 こてっと	金沢工業大学
トレーナークラブ	健康科学大学
学生 NGO ALPHA	東京外国語大学
能登復興支援団体「NOTO×TOYO 青いピブス」	東洋大学
豊橋日曜学校	豊橋技術科学大学
放課後教室 Together	福井大学
学生 NGO PRENGO	立命館アジア太平洋大学
のとコネクト	龍谷大学

# 学生ボランティア団体紹介

団体名	学生サークル・Ladybird				
所属学校名	沖縄キリスト教学院大学				
本拠地(所在地)	沖縄県中頭郡西原町字翁長777				
活動地域	沖縄県内				
活動領域1	福祉	活動領域2		活動領域3	
構成員数	19名				

目的及び活動内容	<p>LadyBirdの活動目的は、「生理や性に関する正しい知識を広め、誰もが安心して話せる社会をつくること」です。日本では生理や性教育がタブー視されることが多く、子どもや若者が正しい情報を得られずに不安や恥ずかしさを抱えています。特に沖縄では家庭や学校で性教育の機会が限られ、ジェンダーに関する偏見も根強く残っています。こうした現状を変えたいという思いから、Lady Birdは「知ること・話すこと・共有すること」を重視し、子どもから大人まで誰もが安心して学び、意見を交わせる環境を広げることを目指しています。</p> <p>具体的な活動としては、小中学校や地域イベントでの出前授業を中心に、生理の仕組みや生理用品の使い方、ジェンダーに関する基礎知識をわかりやすく伝えています。授業では生徒が安心して質問できる雰囲気づくりを重視し、地域イベントでは無料で生理用品を配布したり啓発ブースを設置したりして「生理は恥ずかしいものではない」というメッセージを発信しています。また、SNSや勉強会を通して正しい知識の普及やメンバー自身の学びも継続して行っています。</p>
現在の課題等	<p>LadyBirdの活動には多くの意義がありますが、同時に課題も抱えています。まず資金面の問題があります。出前授業の教材費や生理用品の購入、イベント運営にかかる費用は限られており、持続的に活動を続けるための資金確保は大きな課題です。次に人手の問題です。メンバーは学生であるため、学業との両立やスケジュール調整が難しく、十分な準備や広報活動が思うようにできないことがあります。特に卒業生が増える時期には、新メンバーの加入が少なく、活動の継続性やノウハウの引き継ぎにも課題が生じます。また、地域や学校への認知度が十分でないこともあり、活動の対象や参加者を増やすための広報・連携の工夫が必要です。さらに、生理や性教育に関する偏見やタブー意識は根強く、活動内容が正しく理解されない場合もあります。これらの課題に対して、資金集めやSNSでの発信、他団体との連携を強化し、チームで協力しながら改善を重ねることで、より効果的で持続可能な活動を目指しています。</p>

団体のホームページアドレス	<a href="http://www.">http://www.</a>
---------------	---------------------------------------

代表者名	徳田彩
------	-----

情報公開日：令和 8 年 1 月 21 日

# 学生ボランティア団体紹介

団体名	NPO法人日本サステナブルイノベーターズ				
所属学校名	関西大学				
本拠地(所在地)	大阪府				
活動地域	大阪府				
活動領域1	環境	活動領域2	福祉	活動領域3	
構成員数	22名				

目的及び活動内容	<p>アパレル業界の新品衣類大量廃棄と、小児病棟におけるQOL低下という二つの社会課題の同時解決を目的とする。企業にとって廃棄コストであり、環境負荷の大きい余剰在庫を、患者が服を選ぶ楽しみや自己表現の機会へと昇華させる「ファッションを通じて患者さんを笑顔に！」プロジェクトを運営している。具体的には、企業のブランド価値を保護しつつ医療現場の衛生基準をクリアする独自の寄付モデルを実践している。さらに、アパレルロスの根本解決に向け、市民や学生を巻き込んだ啓発活動を展開し、社会全体の意識と行動の変容を促している。</p>				
現在の課題等	<p>現在の寄付規模ではアパレル産業全体の廃棄量に対するインパクトが限定的であることが課題である。根本的な解決には、アパレル企業が衣類を作りすぎないインセンティブ設計や、サステナビリティ評価を取り入れた新たな仕組みへの移行が必要不可欠である。同時に、大量消費の構造を変革するため、消費者である市民一人ひとりの環境意識の向上と行動変容をいかに促していくかが今後の重要課題である。</p>				

団体のホームページアドレス	<a href="https://n-sis.or.jp/">https://n-sis.or.jp/</a>
---------------	---

代表者名	西田悠人
------	------

情報公開日：令和 8 年 3 月 16 日

# 学生ボランティア団体紹介

団体名	児童文化研究サークル「あかとんぼ」				
所属学校名	関西大学				
本拠地(所在地)	大阪府				
活動地域	大阪府				
活動領域1	福祉	活動領域2	地域連携	活動領域3	環境
構成員数	74名				

目的及び活動内容	<p>1975年の創立以来、関西大学公認サークルとして手づくりの児童文化体験を届けています。主な活動は、吹田市内の学童保育など年間19施設への定期訪問です。学生自らが脚本、人形、舞台装置を制作し、人形劇や紙芝居、季節行事に合わせた遊びを提供することで、子どもの創造力や社会性の育成に寄与しています。地域イベントや子ども食堂にも参画し、大学と地域の接点を形成してきました。家族や学校とは異なる「身近な大学生」という第三者との継続的な交流を通じ、子どもたちの温かい記憶に残る文化活動を次世代へ引き継ぐとともに、学生自身の実践的な成長を促すことが目的です。</p>
現在の課題等	<p>第一に、制作・運搬コストの不足です。資材費や交通費の制約により、演目の質や安全性の維持、訪問頻度の確保が困難な場合があります。第二に、低学年が至近距離で鑑賞するため、防災素材の導入や角の面取りといった安全基準の更新に継続的な投資が必要です。第三に、大人数の部員が在籍しながらも、備品不足により複数箇所での同時活動ができず、特に未経験の学生が上演に関わる機会を十分に創出できていない点が課題です。</p>

団体のホームページアドレス	<a href="https://tonboaka.wixsite.com/topage">https://tonboaka.wixsite.com/topage</a>
---------------	---

代表者名	森野莉人
------	------

情報公開日：令和 8 年 3 月 24 日



# 学生ボランティア団体紹介

団体名	トレーナークラブ				
所属学校名	健康科学大学				
本拠地(所在地)	山梨県河口湖町				
活動地域	山梨県・長野県				
活動領域1	福祉	活動領域2	地域連携	活動領域3	その他
構成員数	41名				

目的及び活動内容	<p>私たちトレーナークラブは、健康科学大学の学生が主体となり、地域社会への貢献と自己成長の両立を目的に活動している団体です。理学療法士の養成校で学んでいる専門知識や技術を生かし、以下の活動を中心に行っています。</p> <p>1.地域のスポーツ大会やイベントでのトレーナーブース出展 参加大会：富士山マラソン、富士トライアスロン、西湖ロードレース、チャレンジ富士五湖ウルトラマラソンなど</p> <p>2.近隣学校へのクラブ・部活動サポート</p>
現在の課題等	<p>スポーツチームのトレーナーや医療現場で活動する理学療法士と比べれば、まだ力不足であると痛感することが少なくありません。自分たちが提供できる支援には限界があり、利用者の期待に十分応えられなかった場面もありました。パフォーマンス向上や怪我の予防につながる施術を行い、利用者様に心から満足していただけるブース活動を行うために、各々のさらなる自己成長を課題とし、今後も活動を続けて参ります。</p>

団体のホームページアドレス	<a href="https://www.kendai-trainer.com/">https://www.kendai-trainer.com/</a>
---------------	---

代表者名	古畑貴太郎
------	-------

情報公開日：令和 8 年 2 月 1 日

# 学生ボランティア団体紹介

団体名	学生NGO ALPHA				
所属学校名	東京外国語大学				
本拠地(所在地)	東京都				
活動地域	東京都				
活動領域1	国際	活動領域2	その他	活動領域3	
構成員数	62名				

目的及び活動内容	<p>フィリピンの教室( Teaching room )・教科書( Textbook )・「教師( Teacher )という「3T不足」の教育課題に対し、教室の側面からの支援を通じて課題解決へ貢献することを目的としています。</p> <p>現地では、教室建設によってインフラ不足という「マイナス」を埋めること、さらにオリジナル授業によって子供たちの学びに「プラス」を生み出すことの二つを軸にして活動しています。</p> <p>国内では国際交流イベントへの参加、フェアトレード商品の販売等により、フィリピンの教育課題を伝え、国際協力を行う仲間の育成に取り組んでいます。若い世代の柔軟な発想と行動力を活かし、持続可能な未来づくりに寄与しています。</p>
現在の課題等	<p>現在の課題としては、建設に必要な材料の高騰により資金調達が困難になっていること、そしてその状況が今後も続くと思込まれることが挙げられます。</p> <p>特に、学生主体では広報力に限界があり、街頭募金やイベント出店、クラファンなどを通じた資金集めに苦勞しています。</p>

団体のホームページアドレス	<a href="https://alphakoho.wixsite.com/website-1">https://alphakoho.wixsite.com/website-1</a>
---------------	---

代表者名	金城陽詩・大熊彩乃
------	-----------

情報公開日: 令和 8 年 3 月 18 日

# 学生ボランティア団体紹介

団体名	能登復興支援団体「NOTO×TOYO 青いビブス」				
所属学校名	東洋大学				
本拠地(所在地)	関東				
活動地域	石川県				
活動領域1	地域連携	活動領域2	その他	活動領域3	
構成員数	40名				

目的及び活動内容	<p>能登復興支援団体「NOTO×TOYO 青いビブス」は、能登半島地震および奥能登豪雨で被害を受けた地域の復興支援を目的とし、「東洋から能登へ 復興の輪を広げよう！」をスローガンに活動する学生団体です。社会貢献センターと連携した現地交流会や報告会の実施、SNSでの情報発信等を通じ、被災地の現状や課題を広く発信しています。また、“想像”と“創造”を重ねた「そうぞう的復興」を理念とし、現地の声に寄り添いながら継続的な支援に取り組んでいます。復興フェーズの変化に伴い、活動内容の見直しや現地ニーズに即した支援の在り方が求められており、関係機関との連携を強化しながら、より実効性の高い活動を展開していきます。</p>				
現在の課題等	<p>団体としての課題として、復興フェーズの変化に伴い、瓦礫撤去等の物理的な支援に対する活動機会が減少し、学生が被災地の実情を実感しにくくなっている点が挙げられます。また、交流中心の活動に対する意義の理解や参加動機の維持に加え、関東圏からの移動となる為、交通費や宿泊費等の経済的負担も参加のハードルとなっています。学生が無理なく継続して関われる仕組みづくりが課題です。</p>				

団体のホームページアドレス	<a href="#">なし</a>
---------------	--------------------

代表者名	山崎ゆらら
------	-------

情報公開日：令和 8 年 3 月 13 日

# 学生ボランティア団体紹介

団体名	豊橋日曜学校				
所属学校名	豊橋技術科学大学・愛知大学・豊橋創造大学				
本拠地(所在地)	愛知県				
活動地域	愛知県				
活動領域1	福祉	活動領域2	地域連携	活動領域3	
構成員数	62名				

目的及び活動内容	<p>当団体は、豊橋市内およびその周辺に住む知的障がいのある子どもたちと月に一度日曜日に集まり、ゲームや工作、イベントなどを一日通して共に楽しみ、交流することを目的に活動しています。子ども一人ひとりの障がいの程度に合わせた遊びや、季節に応じた行事を企画し、新たな体験の機会を提供しています。運営はすべて学生が主体となり行い、企画内容の検討や安全性の確認、ゲームの作製などの準備も行っています。また、継続的な交流を通して子どもたちとの信頼関係を築き、安心して過ごせる居場所づくりを目指すとともに、学生自身も知的障がいに対する理解を深める学びの場となっています。</p>
現在の課題等	<p>当団体は学生が主体となって運営しているため、知的障がい児に関する専門的な知識が十分ではなく、活動中の対応が経験に頼っている部分があります。現在は保護者の方の意見を参考にしながら活動していますが、専門家や他団体との交流が少なく、活動のマンネリ化や新規参加者の獲得が課題となっています。また、参加費のみで運営しているため、キャンプや遠征企画を行う際に、学生や参加家庭の経済的な負担が大きくなってしまいう点も問題です。今後は広報や外部とのつながりを大切にしながら、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを目指して活動していきます。</p>

団体のホームページアドレス	<a href="https://webtss9035.wixsite.com/nichigaku">https://webtss9035.wixsite.com/nichigaku</a>
---------------	---

代表者名	芹澤 快
------	------

情報公開日：令和 8 年 1 月 29 日

# 学生ボランティア団体紹介

団体名	放課後教室Together				
所属学校名	福井大学				
本拠地(所在地)	福井県				
活動地域	福井県				
活動領域1		活動領域2		活動領域3	
構成員数	50名				

目的及び活動内容	<p>放課後教室Togetherは、「居場所×学び」をコンセプトに新しい教室の形を創る学生団体です。2020年12月に発足し、現在は福井大学医学部の学生を中心に約50名が活動しています。子どもにとって居場所の数が多いほど、自己肯定感や将来への希望が育まれるという知見を踏まえ、家や学校以外の「第3の居場所」を提供しています。福井市および永平寺町で無料の学習支援教室を週2回開催し、これまでに300回以上、のべ2,500人を超える小・中・高校生が参加しています。学習支援に加え、交流やワークショップを通じて非認知能力を育み、子どもたちの豊かな心の成長を支えています。</p>
現在の課題等	<p>現在の課題は、①多様なメンバー拡充、②地域貢献活動の強化、③新たな形での居場所構築の3点です。他学部・他大学との連携や地域行事への参加、オンラインやメタバースを活用した居場所づくりを進めています。活動を通じて、子どもだけでなく保護者や学生にとっても居場所となりつつあります。今後は福井の教育や小児精神医療への貢献を視野に、地域全体を支える活動を続けていきます。</p>

団体のホームページアドレス	<a href="https://www.instagram.com/together_fukui?igsh=MTB6Mnpjazh">https://www.instagram.com/together_fukui?igsh=MTB6Mnpjazh</a>
---------------	---

代表者名	芝田宙
------	-----

情報公開日：令和 8 年 1 月 5 日

# 学生ボランティア団体紹介

団体名	学生NGO PRENGO				
所属学校名	立命館アジア太平洋大学				
本拠地(所在地)	大分県別府市				
活動地域	タイ王国 スリン県ラムドゥアン郡				
活動領域1	国際	活動領域2	地域連携	活動領域3	
構成員数	44名				

目的及び活動内容	<p>タイ王国スリン県を活動地として、現地住民と協働しながら自主性や知識・技術の向上を目指しています。教育部、交流部、市場開発部、広報部の4部署で活動を展開しており、教育部は学ぶ楽しさを重視した現地小学生への学習支援、市場開発部は伝統産業を活かした商品開発による雇用創出、交流部は文化交流を通じた地域活性化、広報部はSNSや外部イベントにおける情報発信を担っています。通常は年2回スリン県へ渡航していますが、現在は紛争の影響による渡航中止を受け、オンラインでの活動や国内での取り組みを継続しています。タイフェスティバル等の地域イベントにも定期的に参加し、現地の人々と制作したオリジナル草木染め商品の販売や活動紹介を行うことで、現地への継続的な貢献を重ねています。</p>
現在の課題等	<p>当団体は、「アジア太平洋地域の発展及び相互協力に貢献する」という理念を掲げ、活動を展開しております。長年、年2回の「現地渡航」を活動の根幹に据え、現地住民との直接的な対話や協働を理念達成のための最重要手段として位置付けてきました。</p> <p>しかしながら、2025年夏に激化したタイ・カンボジア紛争の影響による現地情勢の悪化を受け、安全確保の観点から2025年夏、および2026年春の渡航中止を余儀なくされるに至りました。これにより、私たちは従来の活動モデルを根本から見直し、「渡航に依存しない」新たな現地貢献のあり方を模索するという、極めて困難な課題に直面しています。</p> <p>現在、渡航に代わる手段としてオンライン活動の拡充を進めており、その一環として、本年1月には教育部において「3日間のオンライン英語教育プログラム」を実施しました。市場開発部では、現地の生産者とオンラインで連携し、タイの伝統工芸品である草木染め商品をブランド化するとともに、委託販売・対面販売を大分県内を中心に展開しています。また、タイシルクを用いた新商品の試作品考案にも取り組んでいます。物理的な距離を超えて教育支援や開発支援を継続できたことは一つの成果ではありますが、同時にオンラインによる活動の限界も露呈しつつあります。</p> <p>画面越しのコミュニケーションでは、現地の細かな空気感の共有や、言語化されない潜在的なニーズの把握に限界があり、手法を多角化させたとしても、いずれは「オンライン支援としての飽和点」に達することが予想されます。私たちは、オンライン活動を単なる渡航の代替手段として捉えるのではなく、その先にある本質を見据えなければなりません。</p> <p>私たちの究極の目的は、あくまで「現地への貢献」です。手段が制限される今こそ、現地のカウンターパートをはじめとする関係各所との対話を一層深化させることが不可欠です。</p> <p>今後は、「渡航」という手段に依存しない開発支援のあり方を再定義し、いかなる社会情勢下においても現地に価値を還元し続けられる、組織としての「新たな真価」を確立していく必要があると考えています。</p>

---

団体のホームページアドレス	<a href="https://www.prengo-thailand.com/">https://www.prengo-thailand.com/</a>
---------------	---

代表者名	吉田陸功
------	------

情報公開日: 令和 8 年 2 月 1 日

 一般財団法人 学生サポートセンター

# 学生ボランティア団体紹介

団体名	のとコネクト				
所属学校名	龍谷大学				
本拠地(所在地)	京都府京都市深草塚本町67 慧光館				
活動地域	石川県七尾市田鶴浜町				
活動領域1	災害復興	活動領域2	コミュニティー	活動領域3	コミュニケーション
構成員数	15名				

目的及び活動内容	<p>本事業は、京都と能登の双方で取り組む活動から構成されているが、その軸となるのは、現地に足を運び、地域の方々と直接顔を合わせながら関係を深めていくことである。能登では、発災直後から関わってきた七尾市田鶴浜地区のお祭りや行事に参加し、運営の補助や交流を通じて地域の営みを共に支えている。また、七尾市東部商店街とも連携し、イベントの企画・運営を協働で行うなど、現地に根ざした活動を継続している。こうした現地での経験や学びをもとに、京都では「能登Meets」を開催し、能登に関心を持つ学生や地域の人々が集い、対話や交流を通じて新たなつながりや企画が生まれる場として機能している。実際に本学校友会との協働が立ち上がるなど、多様な可能性を広げる起点となっている。さらに、マルシェ出店では活動や能登の現状を発信するとともに、現地で購入した商品や、福祉施設で製作された商品の代理販売も行い、能登の魅力や地域の取り組みを広く届けている。現地で築いた関わりを軸にしながら、京都での発信や新たな連携へとつなげることで、大学内外に能登を思い続ける人の輪を広げ、持続的な活動基盤の形成を目指している</p>
現在の課題等	<p>活動を続けていくうえで大きな課題となっているのは、まず交通費など継続的に通うための負担である。本学ボランティアセンターによる交通費半額補助はあるものの、実費負担が基本となっていることに加え、アルバイトの予定や自宅からの距離、移動にかかる時間といった生活上の事情も、参加をためらわせる要因となっている。そのため、安心して通い続けられるような資金面を含めた仕組みの検討が必要である。また、初期から関わっている学生と後から合流した学生との間には参加経験の差があり、それが意識のギャップにつながっている。こうした状況に対しては、「今からでも関わっていい」という後押しを生み出すことが重要である。そのために、能登Meetsのような取り組みを企画・運営することで学生同士がつながり、関心を持った人が実際に現地へ足を運びやすくなるような流れをつくっていきたい。こうして多様な形で参加を広げながら、最終的には現地に通う関わりを支えていくことが、活動の持続性につながると考えている。</p>

団体のホームページアドレス	<a href="#">なし</a>
---------------	--------------------

代表者名	越岡滉周
------	------

情報公開日：令和 8 年 1 月 21 日